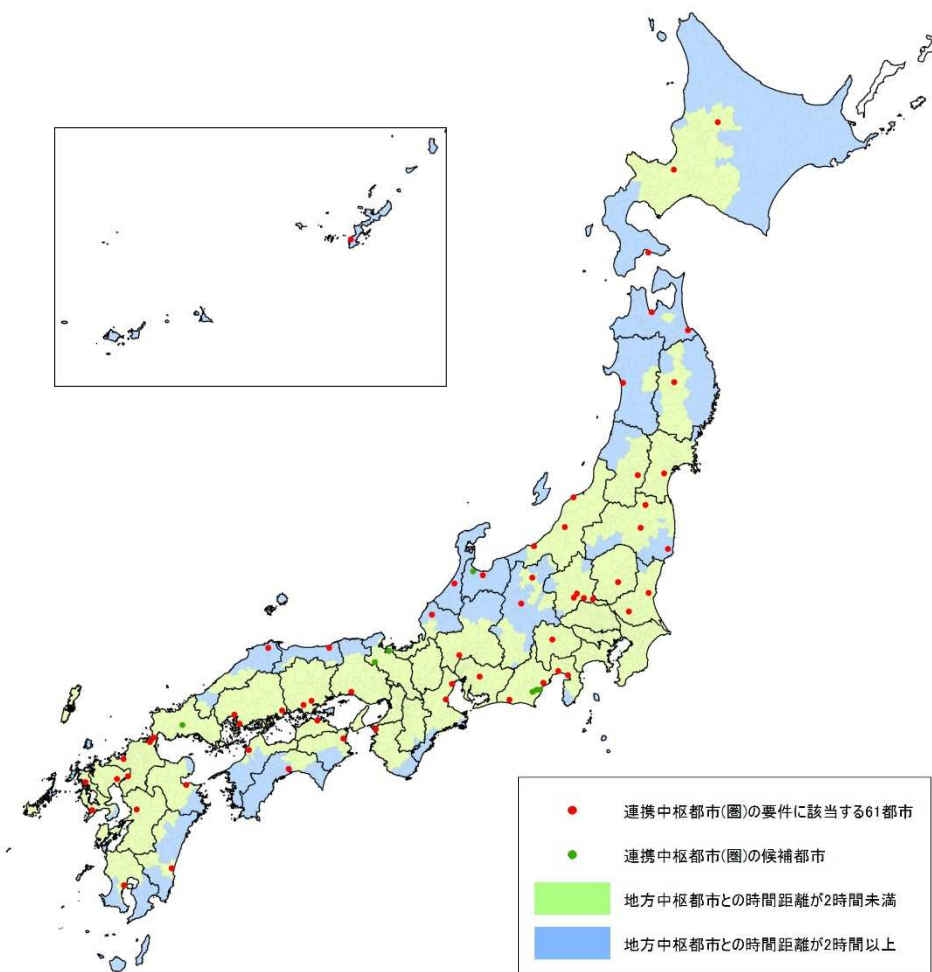


「住み続けられる国土」の 地域構造について(参考データ等)

(参考: 圏域構造) 地域構造のパターン分類と政策圏域

- 連携中枢都市(圏)の要件に該当する都市については、「地方中枢都市との時間距離が2時間未満」の地域に多く分布する傾向にある。
- 定住自立圏については、地域構造のパターン分類に関係なく、全国満遍なく分布する傾向にある。

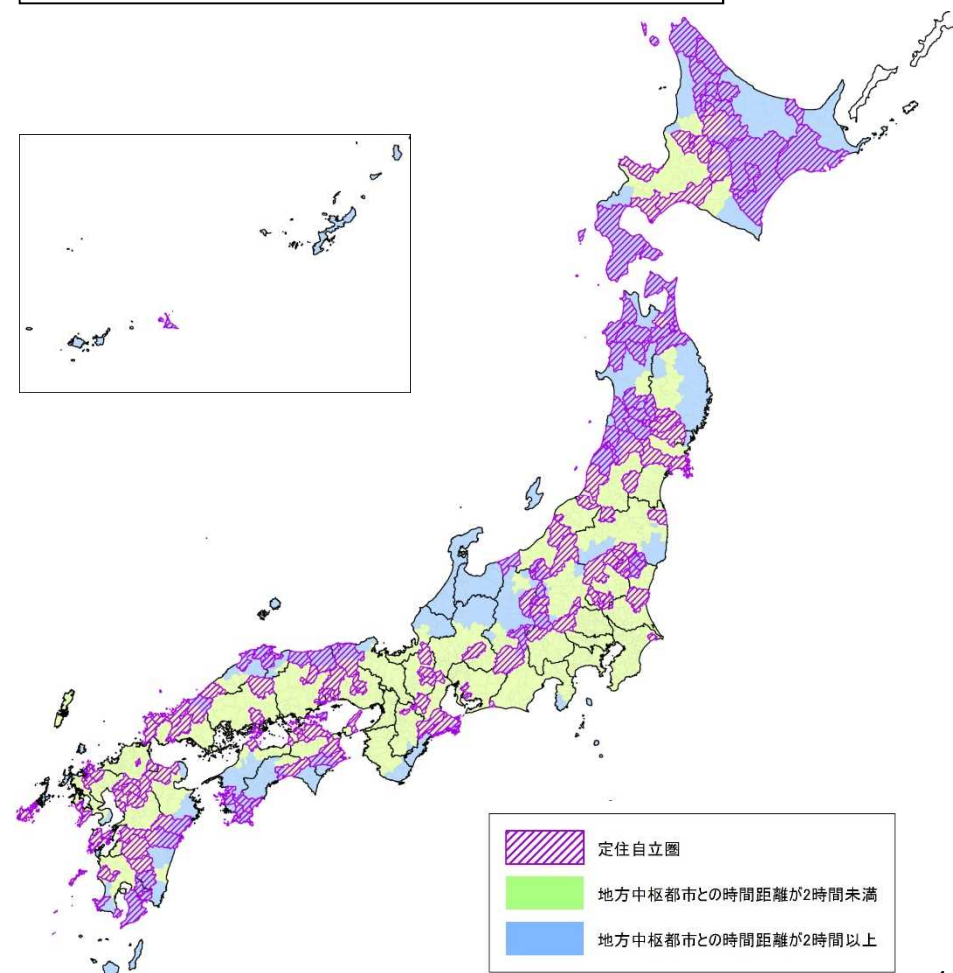
連携中枢都市(圏)の要件に該当する都市



(注) H26.6時点

(出典) 総務省資料

定住自立圏

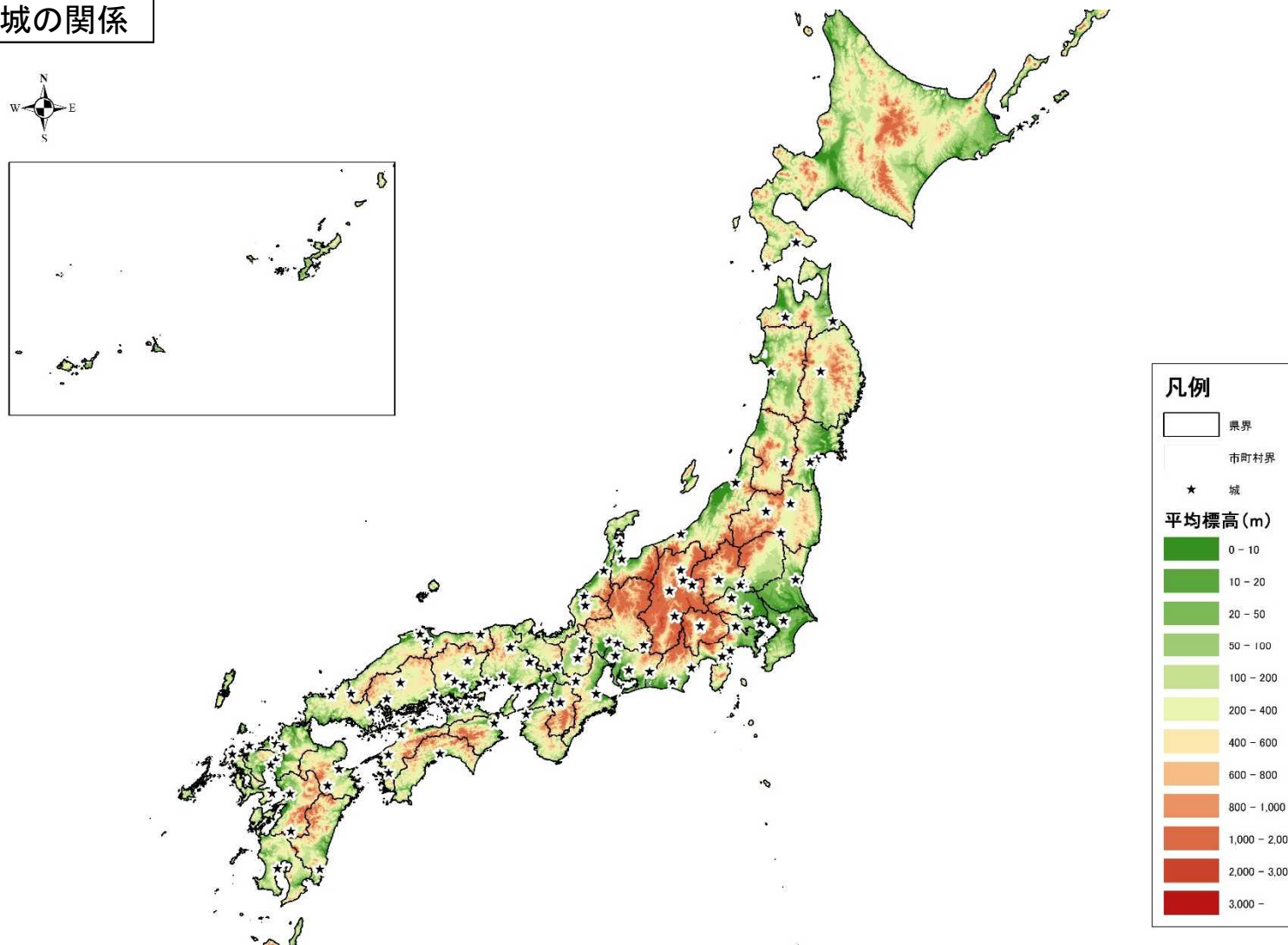


(注) H28.5時点の定住自立圏で、中心市宣言のみの都市を含む

(参考:圏域構造)城の立地と標高

- 圏域や拠点が形成されやすい地域を城の立地と標高の関係からみると、中世以降歴史的に標高が低い住みやすい地域に町が形成される傾向にあり、標高が低い地域や交通の要衝等に城が立地し、現在の拠点地域の礎となっている。

標高と城の関係

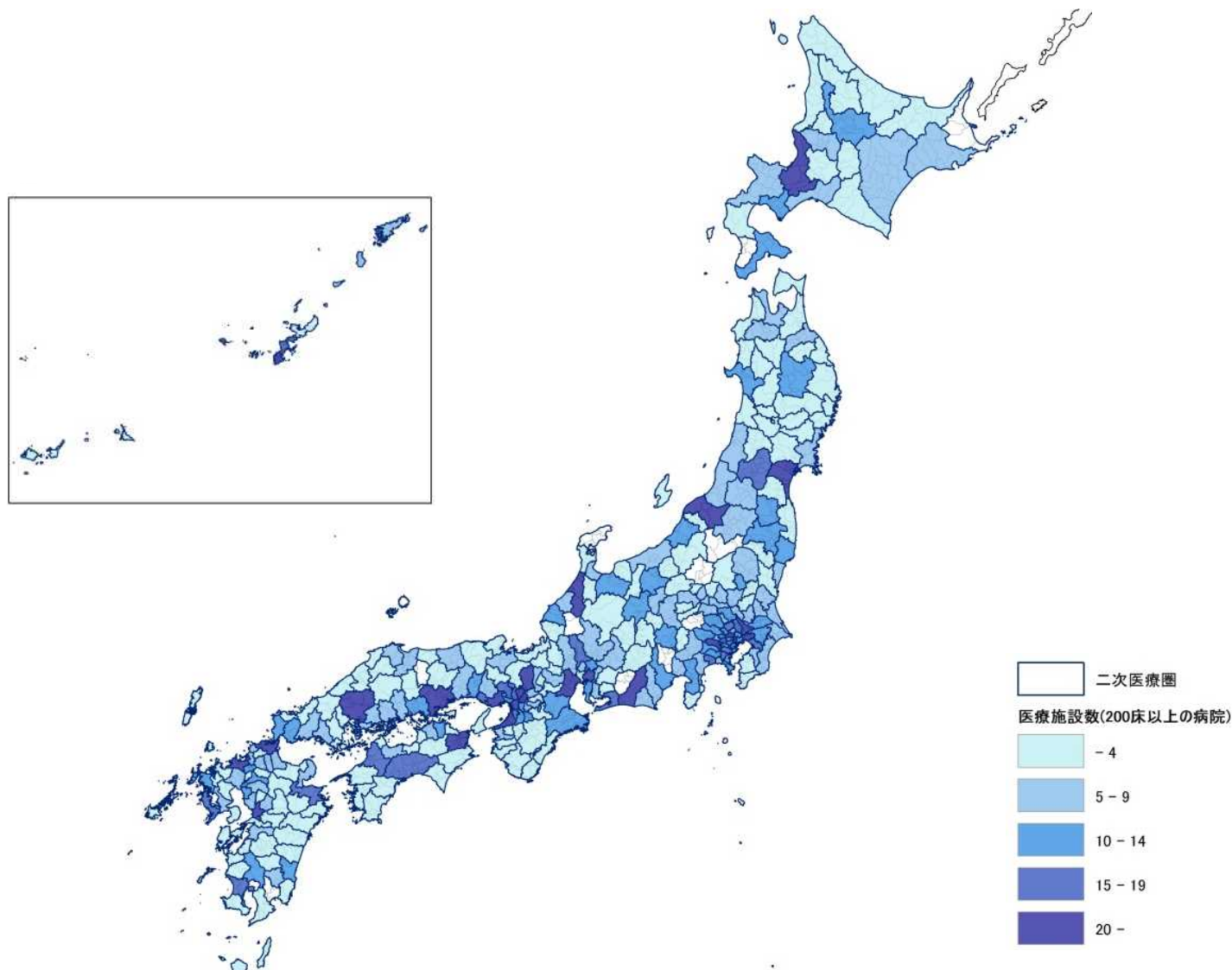


(出典)国土数値情報、公益財団法人 日本城郭協会「日本100名城」

(参考: 圏域構造) 全国レベルでみた医療圏

- 医療圏については、入院治療も可能である二次医療圏が全国で344圏域設定されており、政令指定都市等の拠点的な都市を含む圏域では200床以上の病院が多く立地している。

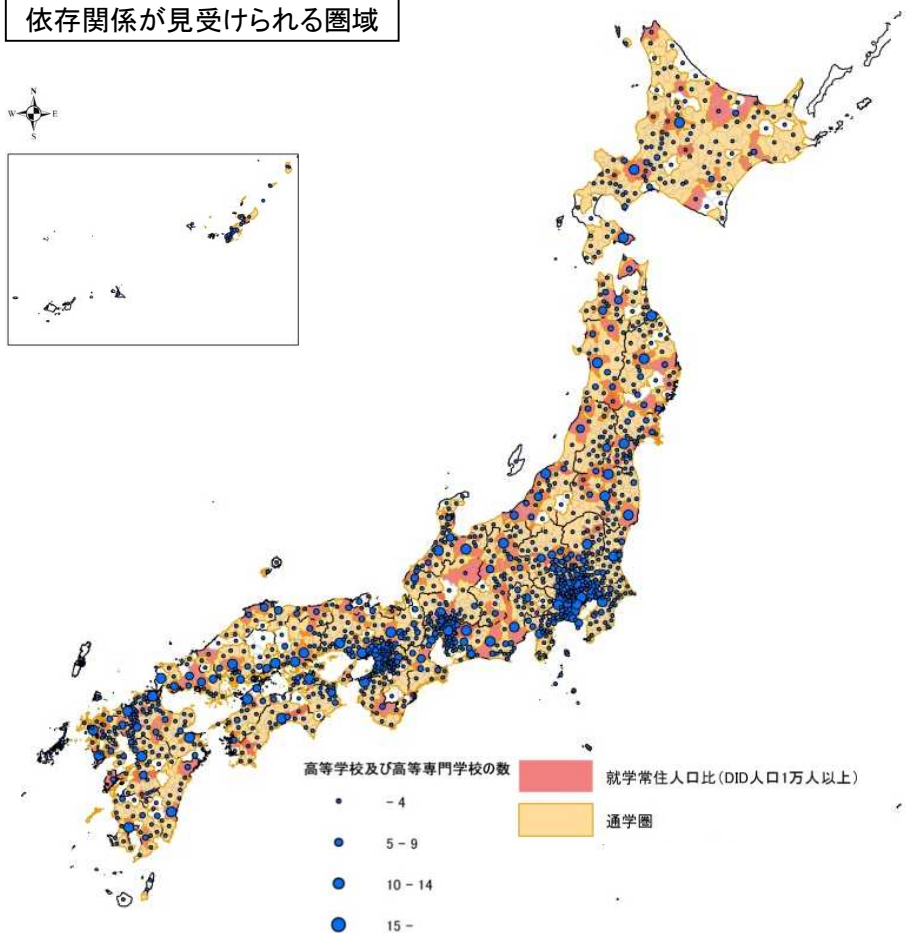
医療圏



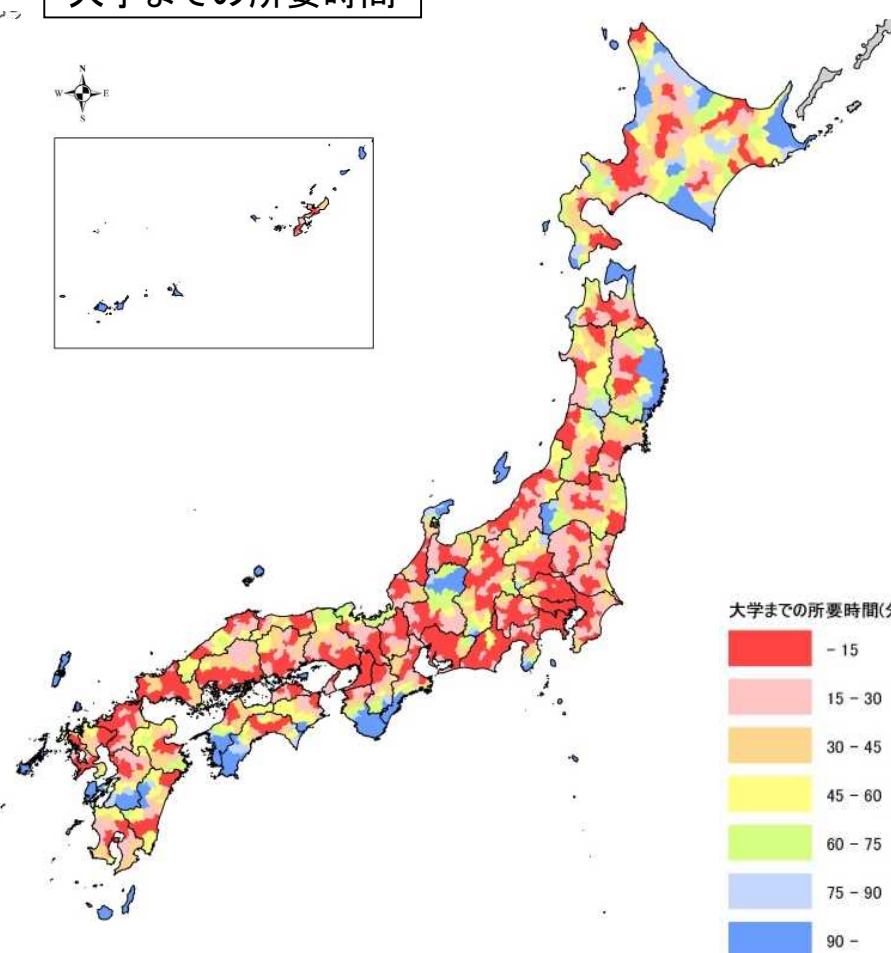
(参考: 圏域構造) 全国レベルでみた通学圏

- 一定以上の通学者による依存関係が見受けられる圏域については、概ね全ての地域をカバーしており、大学までの所要時間については、半島・山間部・離島部などで60分以上の不便な地域が残存している。

一定以上の通学者による
依存関係が見受けられる圏域



大学までの所要時間



(注) 一定以上の通学者による依存関係が見受けられる圏域に含まれる市町村は、「自市町村から各市町村への通学率が10%を上回る市町村」及び「DID人口1万人以上、かつ就学人口(通学地15歳以上人口)と常住人口(居住地15歳以上人口※学生が対象)の比が1以上の市町村」となる。

(注) 大学までの所要時間は、市町村内のメッシュ別大学までの所要時間をメッシュ別15歳未満人口で加重平均したものである。大学の立地は国土数値情報に基づき、メッシュから大学までの所要時間は、デジタル道路地図(DRM)を活用して算出した。

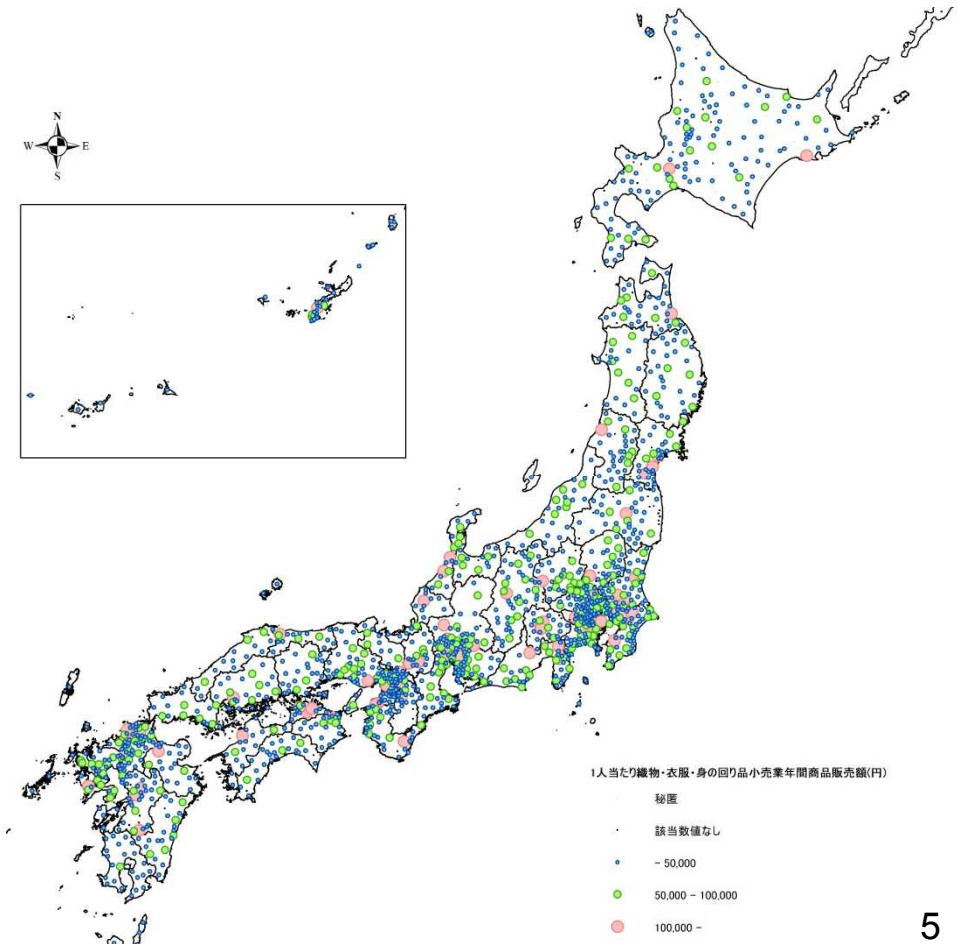
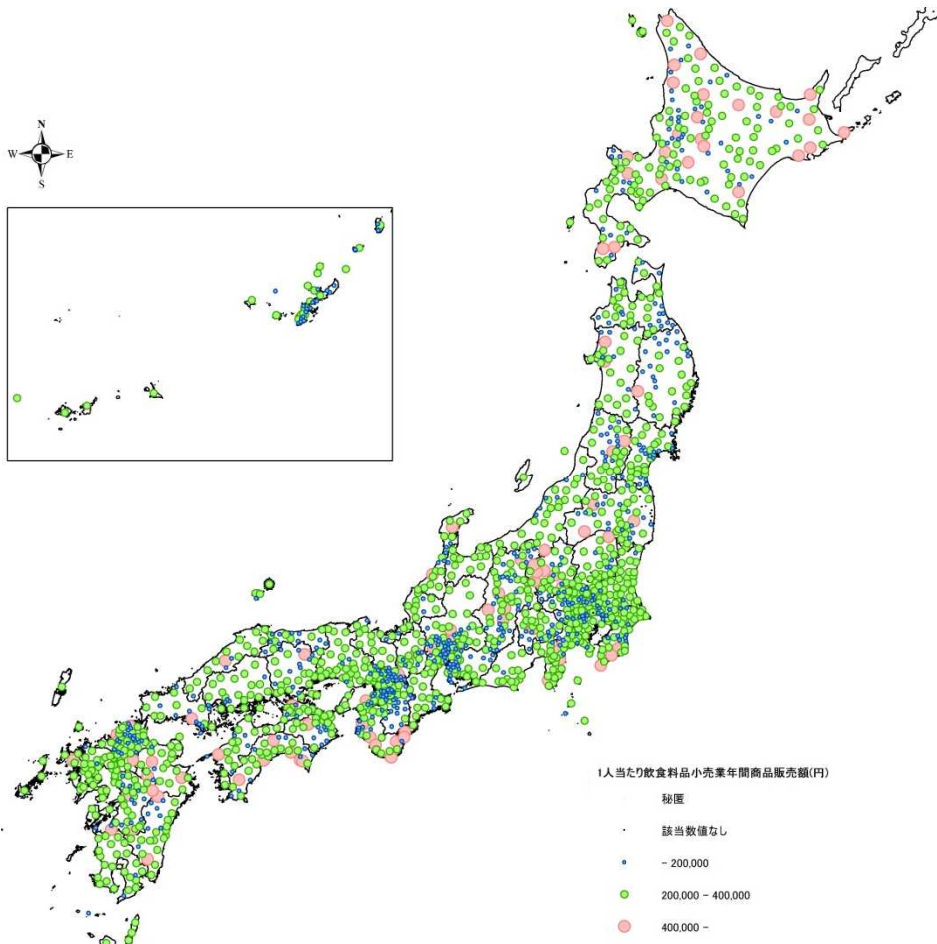
(出典) 国勢調査(H22)、日本医師会 地域医療情報システム、国土数値情報

(参考: 圏域構造) 全国レベルでみた買物圏

- 飲食料品(最寄品)については、1人当たり飲食料品(最寄品)商品販売額に大きな地域差はなく、均一化している。
- 一方、衣料品等(買回品)については、1人当たり衣料品等(買回品)商品販売額に地域差が見受けられる。

1人当たり飲食料品(最寄品)
小売業年間商品販売額

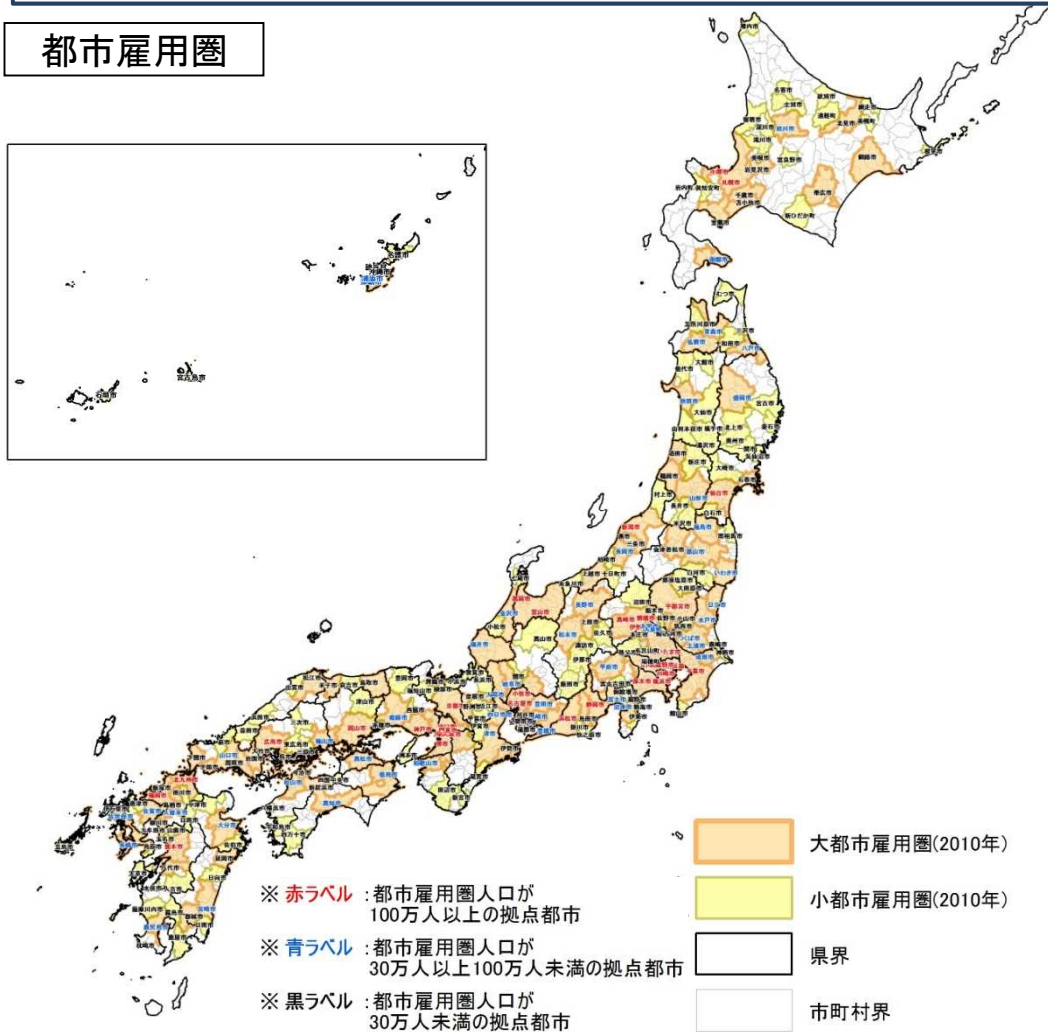
1人当たり織物・衣服・身の回り品(買回品)
小売業年間商品販売額



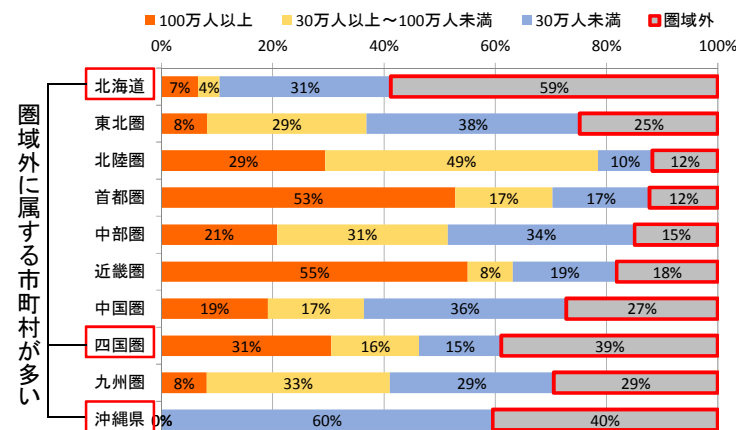
(参考: 圏域構造) 全国レベルでみた通勤圏

- 広域交通基盤のストック形成の進展による移動圏域の拡大が進むなか、藩配置の歴史的背景や政令市などの大都市までの都市間距離の状況により、北海道、四国地方、沖縄県では都市雇用圏に属さない市町村が多い傾向にある。
- また、東北地方、沖縄県では、人口規模の小さい都市雇用圏(30万人未満)に居住する人口割合が高い。

都市雇用圏

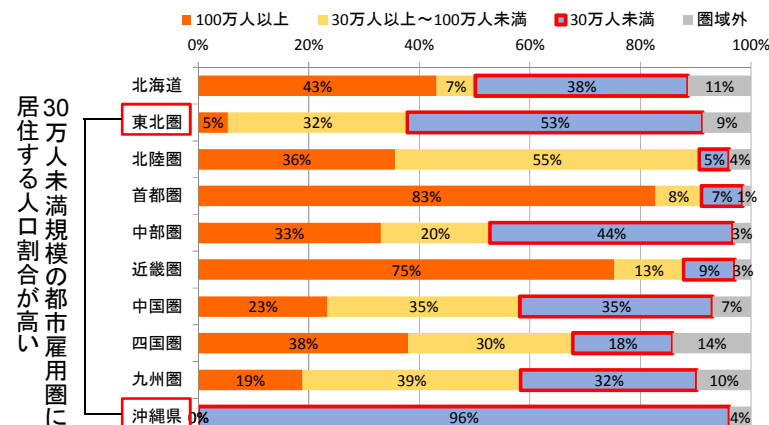


都市雇用圏人口の規模別の市町村割合



圏域外に属する市町村が多い

都市雇用圏人口の規模別の人口割合



30万人未満規模の都市雇用圏に居住する人口割合が高い

(出典) 国勢調査(H22)、日本の都市圏設定基準(金本・徳岡)に基づく都市雇用圏

(参考:新たな人の動き)創造的人材職種の増減

- 地方圏の県庁所在地から90分以上かかる地域では、創造的人材職種のうち、ソフトウェア業、デザイン業、建築設計業、専門料理店、教養・技能教授業等で2009年から2014年の間に従業者数の増加が見られる。

創造的人材職種の従業者数の増減(2009年-2014年)

■三大都市圏 地方圏の 区分

		ソフトウェア業	デザイン業	建築設計業	写真業	専門料理店	教養・技能教授業
2009年	全国	914,134	47,163	259,565	53,799	1,440,175	287,394
	三大都市圏	734,688	35,989	143,156	28,905	888,898	178,957
	地方圏	179,446	11,174	116,409	24,894	551,277	108,437
2009年～ 2014年の 増減数	全国	-58,880	-6,600	-26,695	-3,151	87,666	-5,257
	三大都市圏	-38,507	-4,572	-16,633	-2,194	51,538	-2,309
	地方圏	-20,373	-2,028	-10,062	-957	36,128	-2,948
2009年～ 2014年の 増減率	全国	-6.4%	-14.0%	-10.3%	-5.9%	6.1%	-1.8%
	三大都市圏	-5.2%	-12.7%	-11.6%	-7.6%	5.8%	-1.3%
	地方圏	-11.4%	-18.1%	-8.6%	-3.8%	6.6%	-2.7%

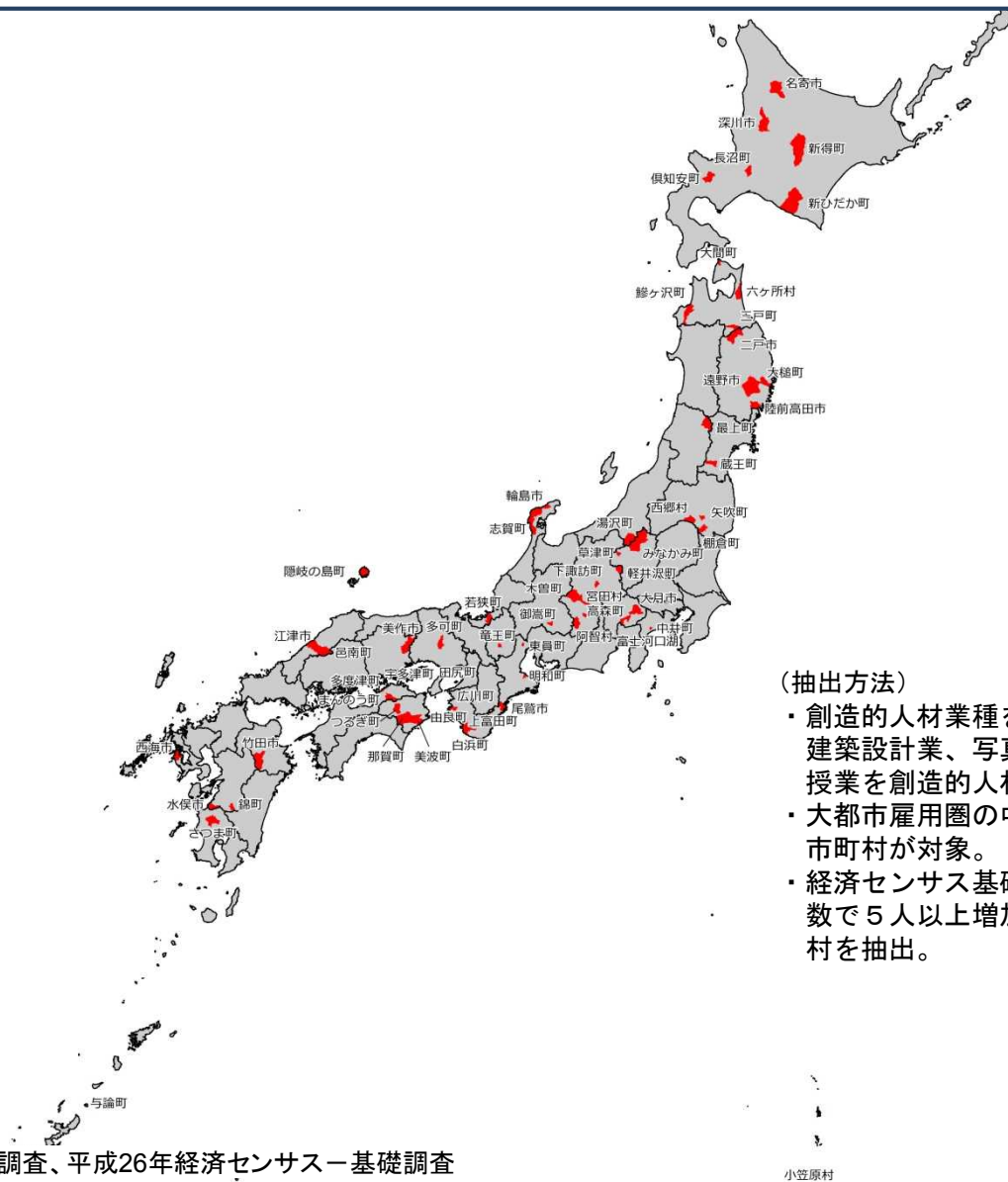
■県庁所在 都市からの 所要時間の 区分

		ソフトウェア業	デザイン業	建築設計業	写真業	専門料理店	教養・技能教授業
2009年～ 2014年の 増減数	0～30分	-10,872	-1,180	-5,215	-107	22,808	-315
	30～60分	-8,404	-572	-2,483	-609	8,440	-1,214
	60～90分	-208	-202	-962	-120	1,202	-1,232
	90～120分	7	-19	-721	-63	934	-177
	120～150分	29	1	-2	-9	-81	-255
	150～180分	-51	-5	63	-7	285	-38
	180分～	-874	-51	-742	-42	2,540	283
2009年～ 2014年の 増減率	0～30分	-8.3%	-15.2%	-6.8%	-0.8%	7.6%	-0.5%
	30～60分	-22.0%	-24.8%	-10.2%	-8.1%	4.9%	-3.8%
	60～90分	-4.8%	-40.5%	-15.1%	-5.5%	3.2%	-16.0%
	90～120分	0.4%	-12.5%	-20.4%	-7.6%	6.3%	-5.9%
	120～150分	20.3%	6.7%	-0.4%	-4.1%	-2.7%	-32.4%
	150～180分	-23.1%	-14.7%	6.8%	-3.1%	8.0%	-6.2%
	180分～	-20.3%	-11.8%	-15.9%	-3.4%	11.5%	5.8%

(出典) 平成21年経済センサス基礎調査、平成26年経済センサス基礎調査

(参考:新たな人の動き)創造的人材業種の空間分布

- ソフトウェア業、デザイン業、建築設計業、写真業、専門料理店、教養・技能教授業の創造的人材業種が複数業種で増加している地域は、三大都市圏以外の地域で見られる。

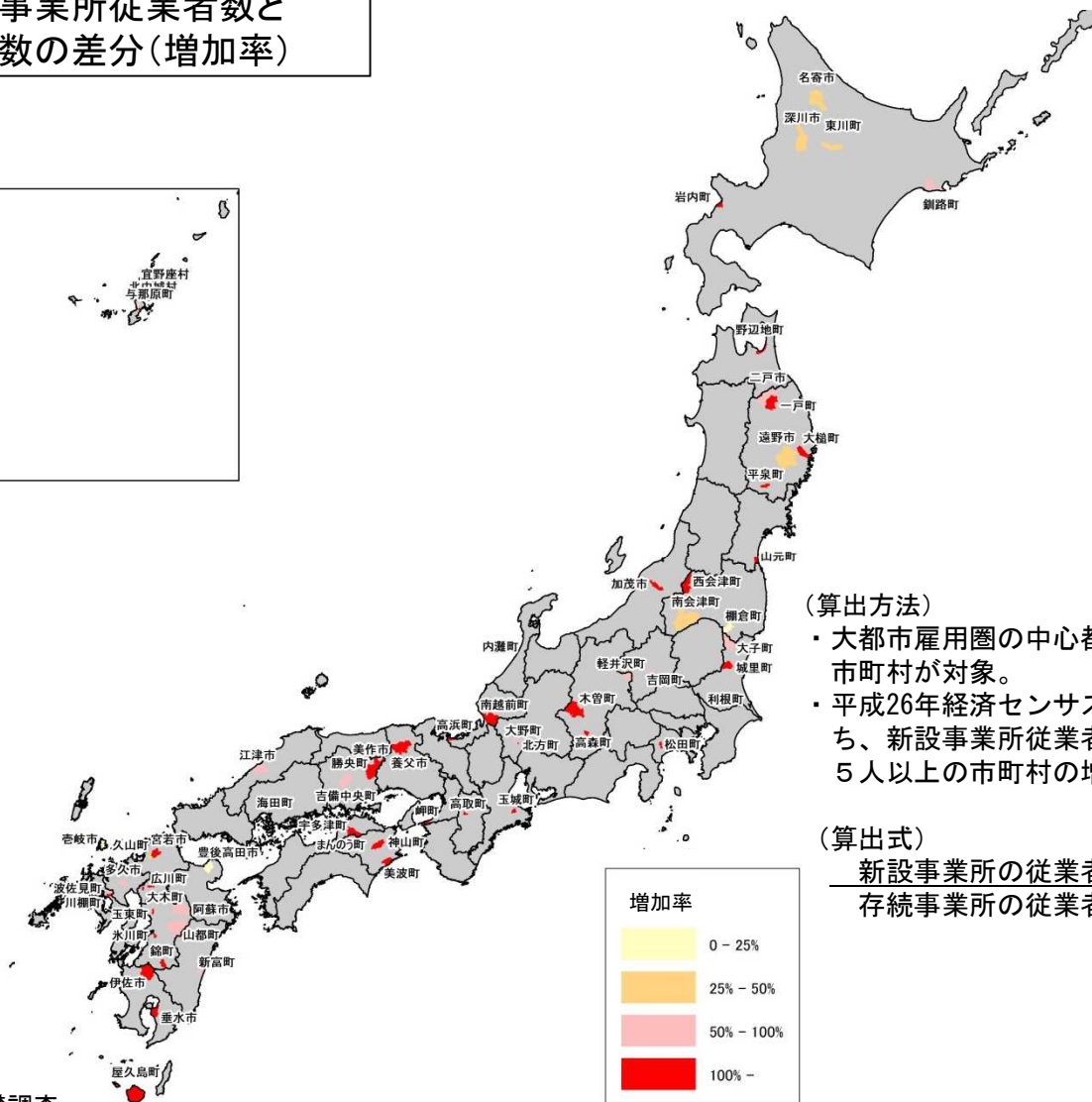
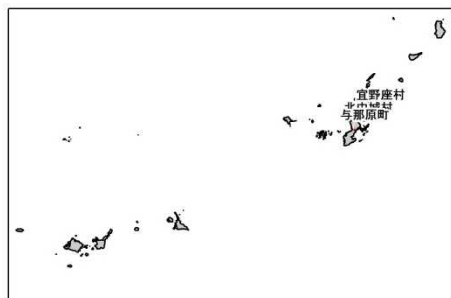


(出典) 平成21年経済センサス基礎調査、平成26年経済センサス基礎調査

(参考:新たな人の動き)情報通信業の空間分布

- 情報通信インフラの整備に伴い、地方部において情報通信業の新設事業所の従業者数が廃業事業所の従業者数を上回る地域がある。

情報通信業の新設事業所従業者数と
廃業事業所従業者数の差分(増加率)



(算出方法)

- ・大都市雇用圏の中心都市でない人口3万人未満の市町村が対象。
- ・平成26年経済センサス基礎調査の情報通信業のうち、新設事業所従業者数－廃業事業所従業者数が5人以上の市町村の増加率を下記より算出。

(算出式)

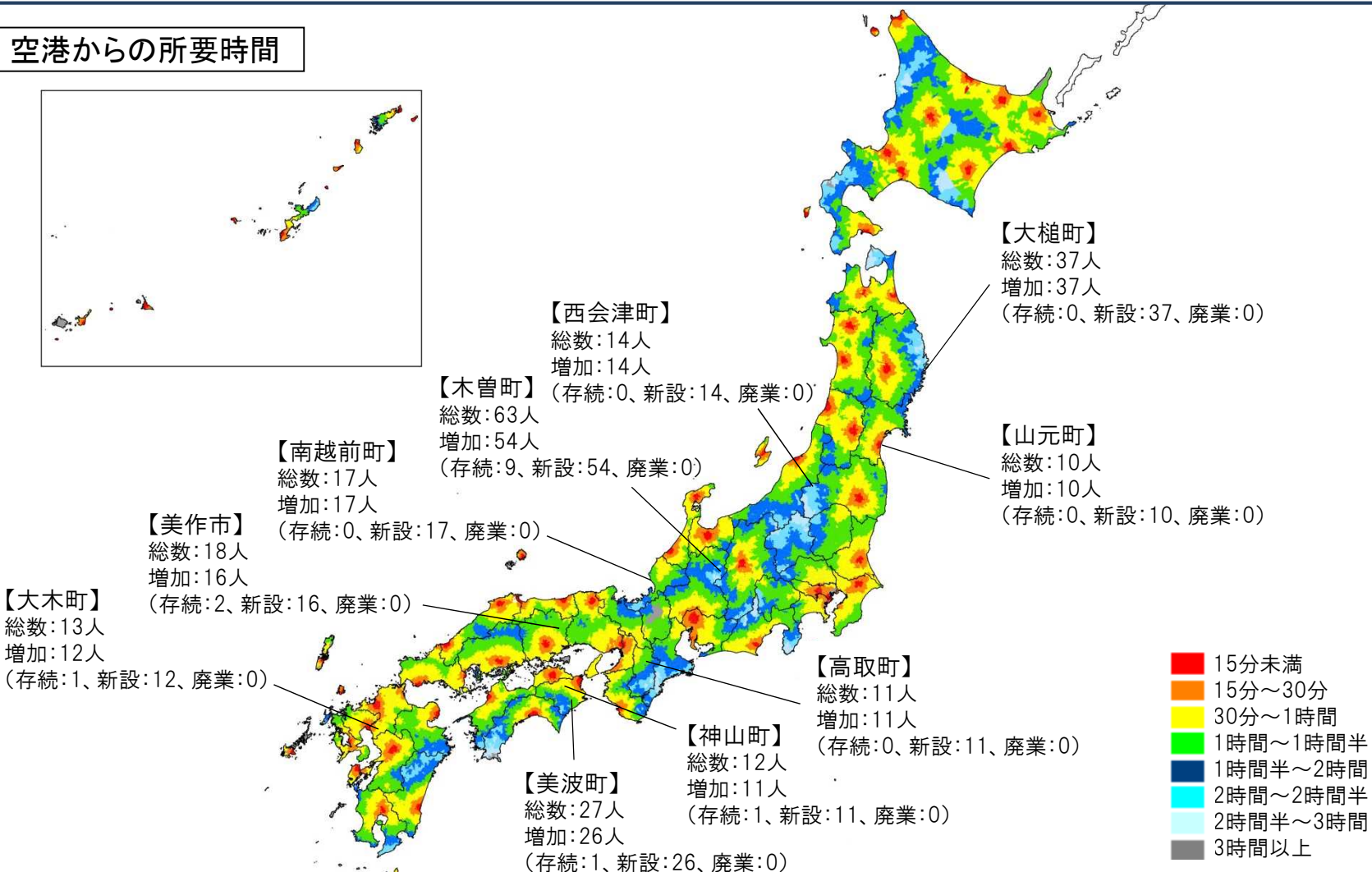
$$\frac{\text{新設事業所の従業者数} - \text{廃業事業所の従業者数}}{\text{新設事業所の従業者数} + \text{廃業事業所の従業者数}}$$

(出典) 平成26年経済センサス基礎調査

(参考:新たな人の動き)情報通信業と空港

- 地方圏では、2012年から2014年間の情報通信業の事業所の新設に着目すると、従業者数が10人以上増加している市町村では、情報通信業の事業所の新設により、50人以上の従業者数が増えている地域もみられる。上位10位の市町村の中には、徳島県の美波町、神山町などの情報通信業の先進地域もみられる。
- これらの地域は、一部を除くと空港から1時間半以内となる地域が多い。

空港からの所要時間



(出典) 平成26年経済センサス基礎調査

(参考:新たな取組み)伝建地区を生かした地域づくり

- 全国に重要伝統的建造物群保存地区は110地区存在しており、90市町村に分布する。
- 重要伝統的建造物群保存地区では、古民家をリノベーションする等さまざまなニーズに対応することが可能であり、日常生活の場としての価値を高めていくことが可能となる。

重要伝統的建造物群保存地区を生かした地域づくり

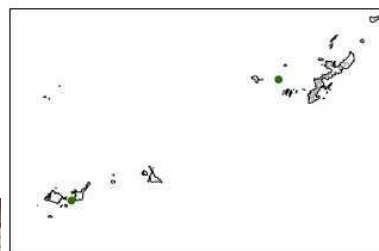
町屋のリノベーション事例 (八女市・八女福島の町並み)

- 多様なまちづくり団体の支援のもとカフェやゲストハウス等への町屋のリノベーションが展開。

【伝統工芸や筑後・九州の手仕事の
アンテナショップかつ情報発信の場
としてのリノベーション】



【カフェへの
リノベーション】



古民家のリノベーション事例 (篠山市・集落丸山)

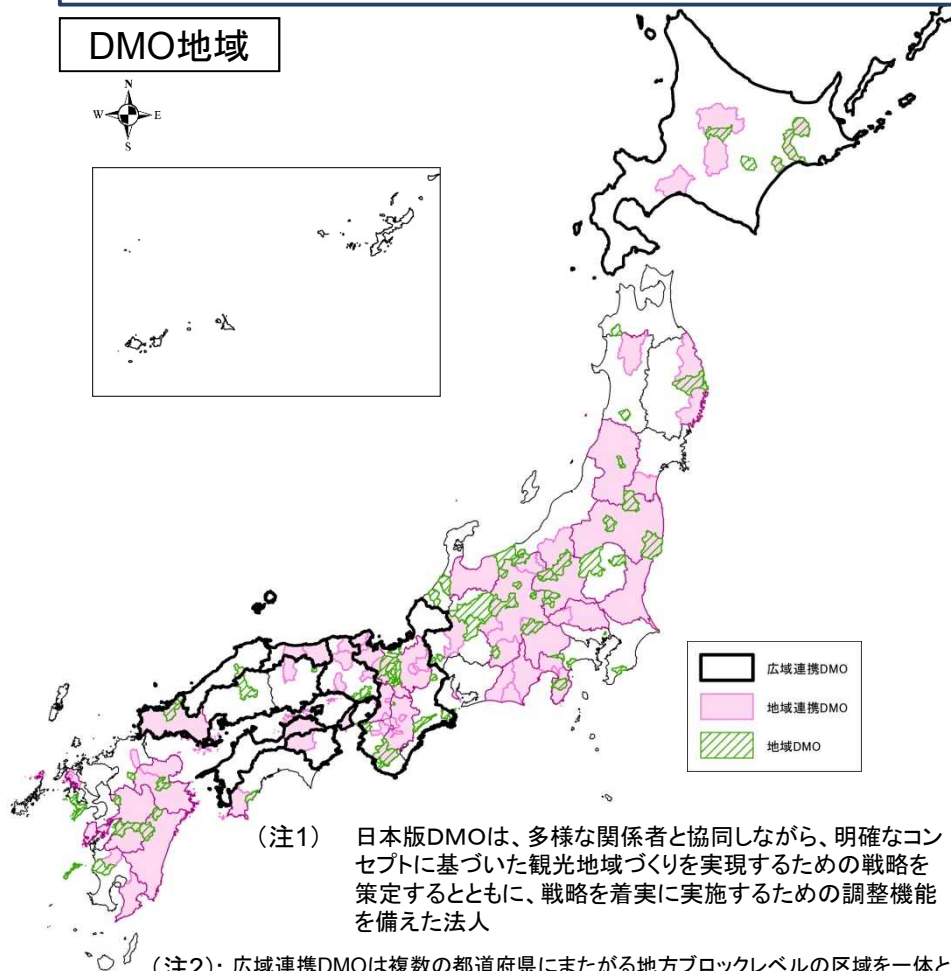
- 全12戸のうち7戸が空き家であった篠山市丸山地区で空き家の古民家を活用した宿泊施設「集落丸山」が開業。空き家3棟をオーベルジュにリノベーションし、集落の暮らしを体験できる空間に整備。



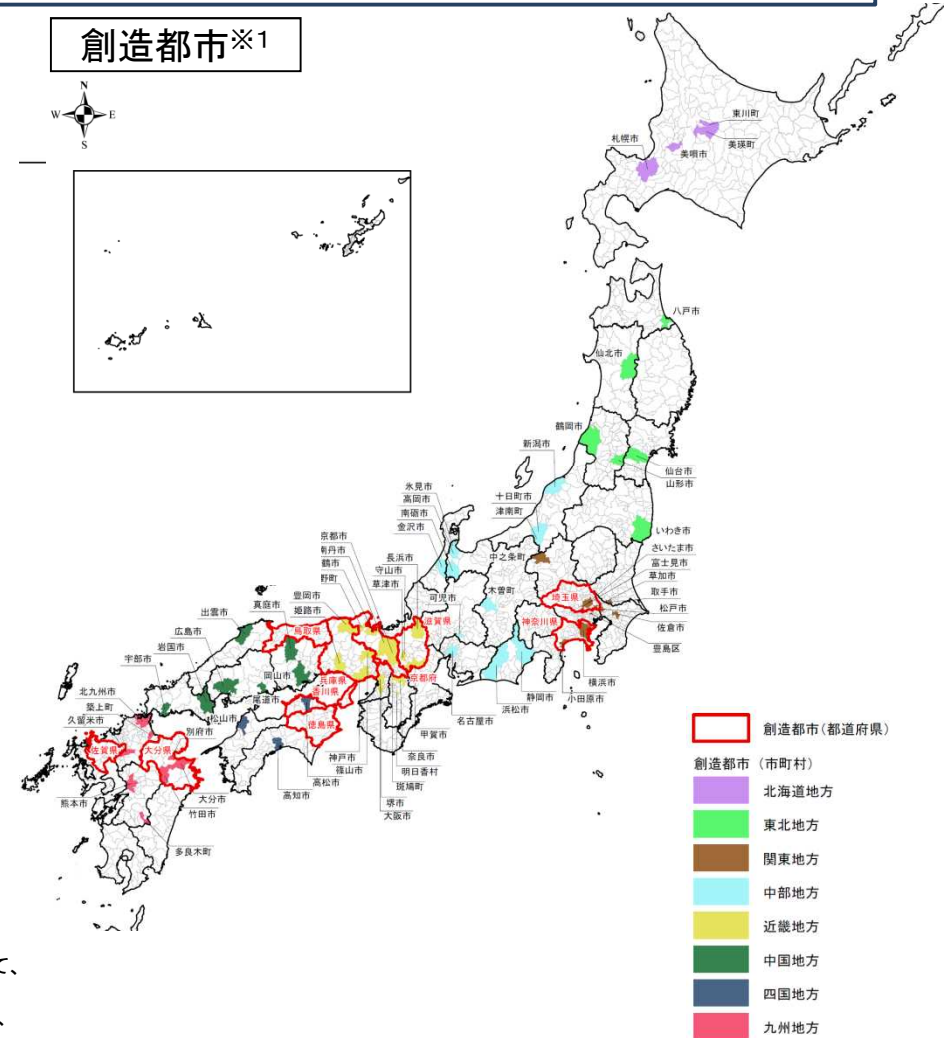
(参考:新たな取組み)DMO地域・創造都市の形成

- 日本版DMOを核とした観光地域づくり・ブランドづくりや地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動などにより生活の質や豊かさを高めていく都市として、創造都市が位置付けられるなど、新たな地域の価値を高めていく取組みが進んでいる。

DMO地域



創造都市※1



(注) 創造都市ネットワークへの参加団体が対象